


ふりがな	おぼらだい3いせき・おぼらだいほうるいあと	
遺跡名	小原第3遺跡・小原台堡壘跡 (横須賀市No.466・477遺跡)	
調査期間	20110316～20121015	
所在地	横須賀市走水	
時代	縄文 近世 近代以降	

更新日:平成25年7月25日

調査原因	防衛省南関東防衛局による防衛大学校食堂棟新設に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置	横須賀市東部、京急線馬堀海岸駅から東方約1.6kmに位置する。
主な調査成果	<p>調査地点周辺には、明治時代、小原台堡壘という軍事施設が築かれていました。今回の発掘調査では、堡壘の外縁を巡る空壕、地下室、貯水所といった各施設のほか、大正時代に行われた軍事演習の痕跡が発見されました。</p> <p>D6号構造物として調査を実施した貯水所は、取水室と濾過室、貯水室の3部屋から構成される構造物です。有事の際、小原台堡壘に赴任した兵士の飲料水を確保するために造られた施設と考えられます。濾過室に設置された濾過層は、棕櫚(しゅろ)皮、砂、砂利を互層状に敷き詰めたものでした。この砂利を分析したところ、砂利の種類とその構成比が、遺跡の所在する小原台地の基盤層の一つである小原台礫層と整合的である結果が得られました。遺跡周辺の崖面には礫層の露頭があり、濾過材はそこから調達したものと考えられます。</p> <p>また、縄文時代の調査では、火を焚いた痕跡である焼土址が見つかりました。焼土址から遺物は出土していませんが、周辺からは早期後半から前期初頭の土器・石器が出土しています。住居跡などは確認されておらず、狩猟場のような景観が想定されます。ただし、調査成果は断片的なものであり、詳細は現在実施している出土品等整理作業において、分析していく必要があります。</p>



▲ D6号構造物 掘削状況



▲ D6号構造物 全景



▲ 縄文時代 J1号焼土址 覆土堆積状況



▲ 縄文時代 遺物出土状況